

重量機器搬入計画

目 次

[1\) 一般事項](#)

[2\) 機器搬入計画](#)

[3\) 搬入方法詳細](#)

[4\) 安全作業手順](#)

<https://www.sekouya.com>

1) 一般事項

a. 作業計画の立案

作業計画の立案、決定に当たり関係者相互の十分なる意思の疎通を図り作業内容、作業環境、関連工事との調整その他安全面を十分考慮して計画を立案し監督職員の承諾を受ける。

b. 搬入管理体制の確立

搬入管理体制を確立し作業方法、手順、指導、教育をする。

c. 安全対策の徹底

作業実施の注意事項・安全対策を徹底する。また作業員は必ず安全靴、ヘルメットを着用する。また、安全靴、保護帽、手袋、作業開始前に作業員全員に説明し周知徹底する。また作業員は必ず安全靴、ヘルメットを着用し、常に点検整備されたものを着用する。

d. 周辺地域住民対策

- (1) 地域住民・一般歩行者に対し注意喚起する。
- (2) 工事通行車両はできるだけ騒音・振動を低減し、運転者・作業者の大声・暴言を慎む。
- (3) 車両が、歩道を横切りまたは歩道を通行する場合は、歩行者・車両に対して注意喚起し、誘導員を配置し、第三者事故を防止する。

e. 天候による作業制限

雨天や強風での作業基準を設定し、作業を中止し、中止措置、延期なども考慮する。

f. 整理整頓

「機器搬入時の立入禁止区域」を設定し、作業区域を確保し、規律ある行動を確保し、安全かつ快適な作業環境を維持するとともに安全通路を確保し、規律ある行動を確保する。

g. 予定外作業の禁止

予定外作業は、原則として行わない。ただし、必要が生じた場合には、内容を十分検討し、監督責任者に連絡、承諾を得て実施するものとする。

h. 使用機材の安全確保

- (1) 荷おろし作業などに使用する機材は、事前に点検整備されたものを使用し、安全性の十分確保できるものを選定する。
 - ・ワイヤロープの使用に当たっては、キンクのあるものや素線切れものは使用禁止とし、安全係数 8 で使用する。
 - ・クレーン車の使用に当たっては、作業半径の許容荷重の 80% で使用する。

(2) その他使用機材は、作業内容に適したものを検討のうえ選定し、点検後使用する。また、使用電動器具（ウインチ・チェンブロック等）は、接地・配線・スイッチなど点検のうえ、損傷のないものを使用する。

i . クレーン車・重機作業

- (1) クレーン操縦者および玉掛作
の点検表を確認する。
- (2) クレーン操縦者は、玉掛作業
て行なう。
- (3) クレーン車の設置場所・設置
- (4) アウトリガーの使用に問題が
- (5) クレーン作業中は、監視員を
- (6) 玉掛作業員は、機器の定めら
え吊り上げ、移動を行なう。
- (7) クレーン作業で架空電線近く
電線の保護対策後アースを取り

豊富なものを選定する。また、クレー
確認を行ない、玉掛作業者の指示に従っ
、
心じて地盤の養生を行なう。
全を図る。
、30cm 程度仮吊りして安全確認のう
、事前に所轄の電力会社へ連絡のうえ、
て細心の注意を払い作業を行なう。

j . 作業開始前

- (1) 作業員名簿および健康診断の
- (2) 作業員全員集合。作業員の健
- (3) 持込工具の点検（点検済みマ
- (4) 作業内容、製品取扱い上など
- (5) 作業区域以外の立入禁止と不
- (6) KYK（TBM）を実施、記録
- (7) 搬入部、搬入通路および据付
- (8) 構内作業区域は、バリケード
域を明確に区画する。引き続き

限が必要ないか確認する。
服および保護具の点検を行なう。
種別・数量チェックを行なう。
、
ないよう作業員に徹底する。
う。
外者の立入禁止の表示を行ない、占有区
へ配置する。

k . 作業中

- (1) 作業段取り、作業方法の安全
- (2) 監視人に権限をもたせ、関係
- (3) 計画どおりの搬入が困難な場
関係者および作業員に連絡し周
- (4) 他業者との出会い作業は、事前の打合せと相互の譲り合いにより、互いに協力のうえ、トラブルのないように行なう。

立入を禁止する。
なときは、再度ミーティングを行ない、

l . 作業終了

- (1) 搬入機器の点検、構造物の破損および異常の有無を確認する。
- (2) 工具等の機材の数量チェックを行ない、搬入機器の中に忘れがないか確認する。

- (3) 養生材の撤去および作業所の整理整頓・後始末・清掃を行なう。
- (4) 全員集合して人員確認、作業場所の火気などのチェックを行ない退場する。

m . 高所作業

- (1) 高所作業における墜落防止対策として、作業場所に応じた足場および囲いなどの施設を設ける。これを設けることが困難な場合は、足場や囲いなしで作業を行う場合は、十分に注意し墜落防止に努める。
- (2) 高所作業には監視人を配置する。

n . 構内搬入路の養生

- (1) 構内道路・搬入路の軟弱な場合は、養生材を敷き養生する。
- (2) 搬入作業において、取り外しないようにする。

鉄板を敷き養生する。
は作業終了後速やかに復旧し転落事故の

o . その他

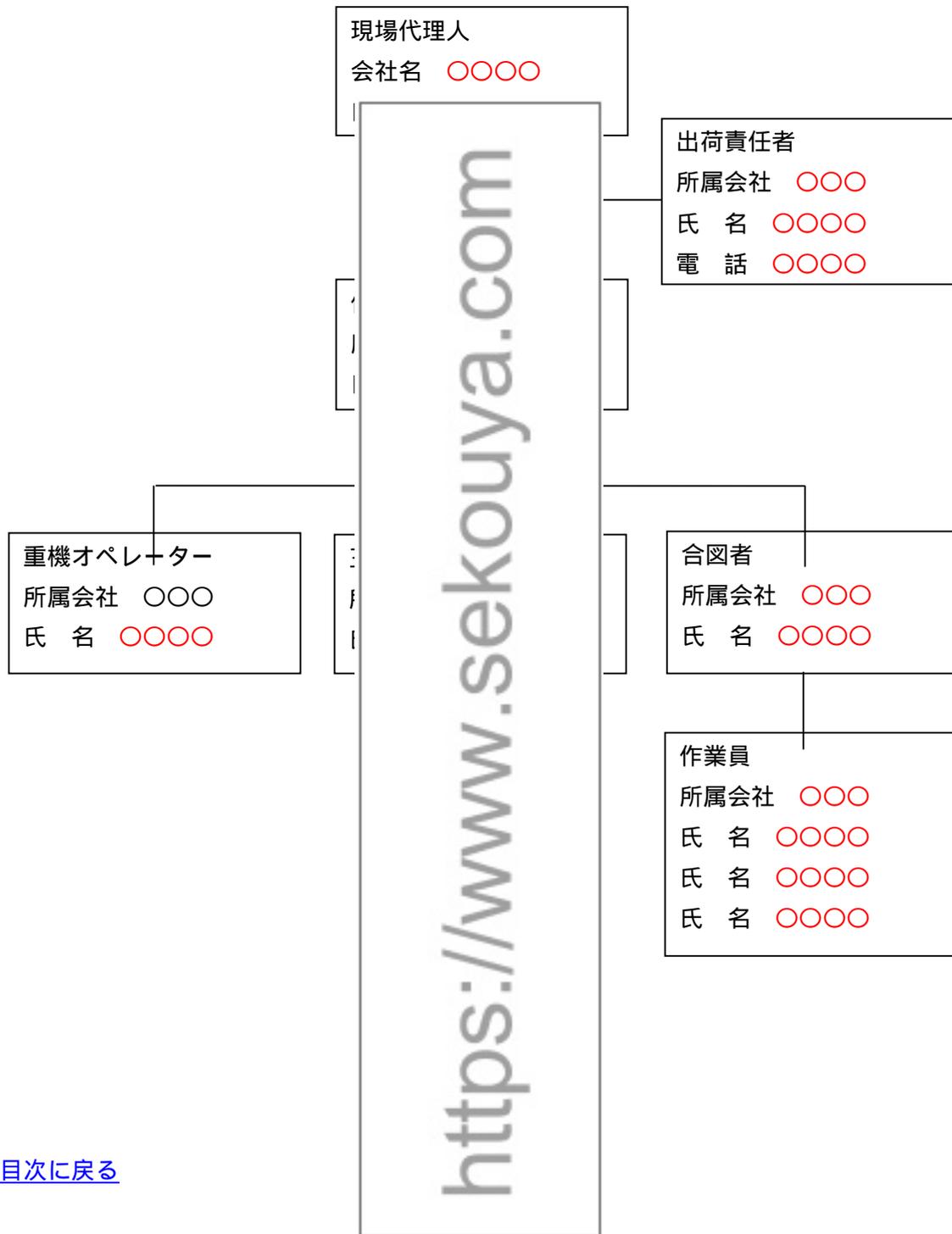
- (1) 事務所・現場内の規則を遵守
- (2) 万一不測の事故等が発生した場合は、速やかに監督職員に連絡しその指示に従い対処する。

とし速やかに監督職員に連絡しその指示

[目次に戻る](#)

<https://www.sekouya.com>

e . 機器搬入組織表



[目次に戻る](#)

f . 作業員名簿

職 種	所属会社 氏 名	生年月日	年齢	住 所 電話番号	資格内容 取得年月日・番号
作業責任者					
オペレータ					
玉掛責任者					
合 図 者					
普通作業員					
普通作業員					
普通作業員					

(1) 注意点

- ・ 作業当日資格者証の携帯を確
- ・ 資格免許の写しを事前に取り

g . 作業概要

50t ラフタクレーン車をド
荷積トラック車上で直接

ドライエリア開口部より B2F に吊り降ろす。

吊り降ろした機器は、搬入路に従って、養生された通路上を電動ウインチなどで横引き水
平移動をし、所定の位置に据え付ける。

<https://www.sekouya.com>

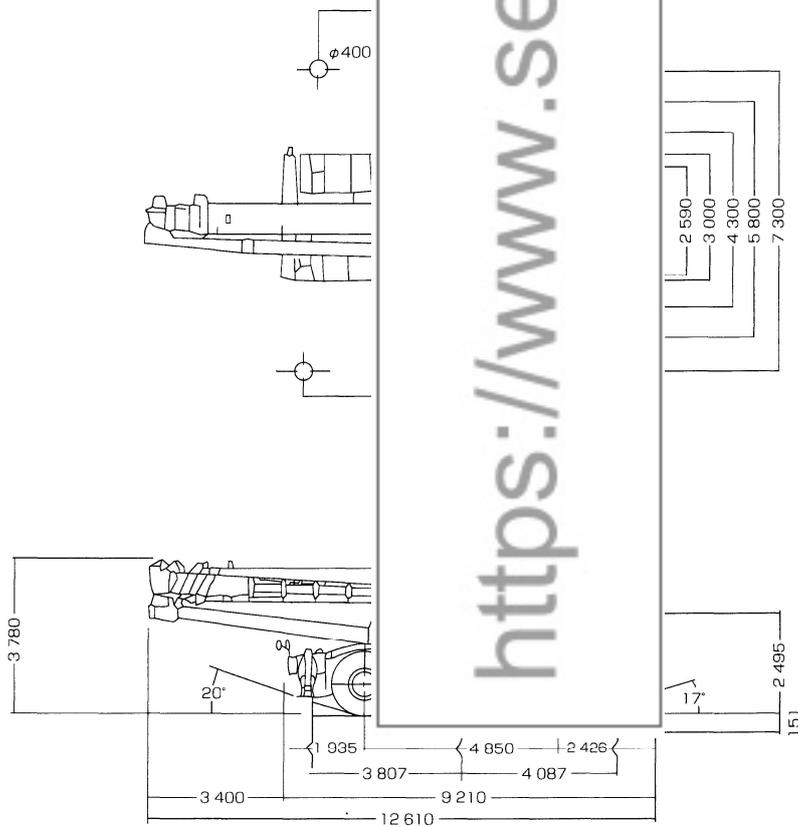
h . 使用重機および特性表

50t ラフターラインクレーン主要諸元

重 量	
走行時車体重量	37610kg
最大反力	35.55t (アウトリガ最大7)
キ ャ リ ア 部	
エ ン ジ ン 型 式 最 高 出 力 最 大 ト ル ク	三菱 6D22TC (インタークーラ付) 4 サイクル水冷頭上 噴射式ディーゼル 320ps / 2200rpm 118kg・m / 1400rp
登坂能力 最高速度	310 (0.6tan) 49km / h
最小回転半径	4 輪ステアリング : 2 輪ステアリング :

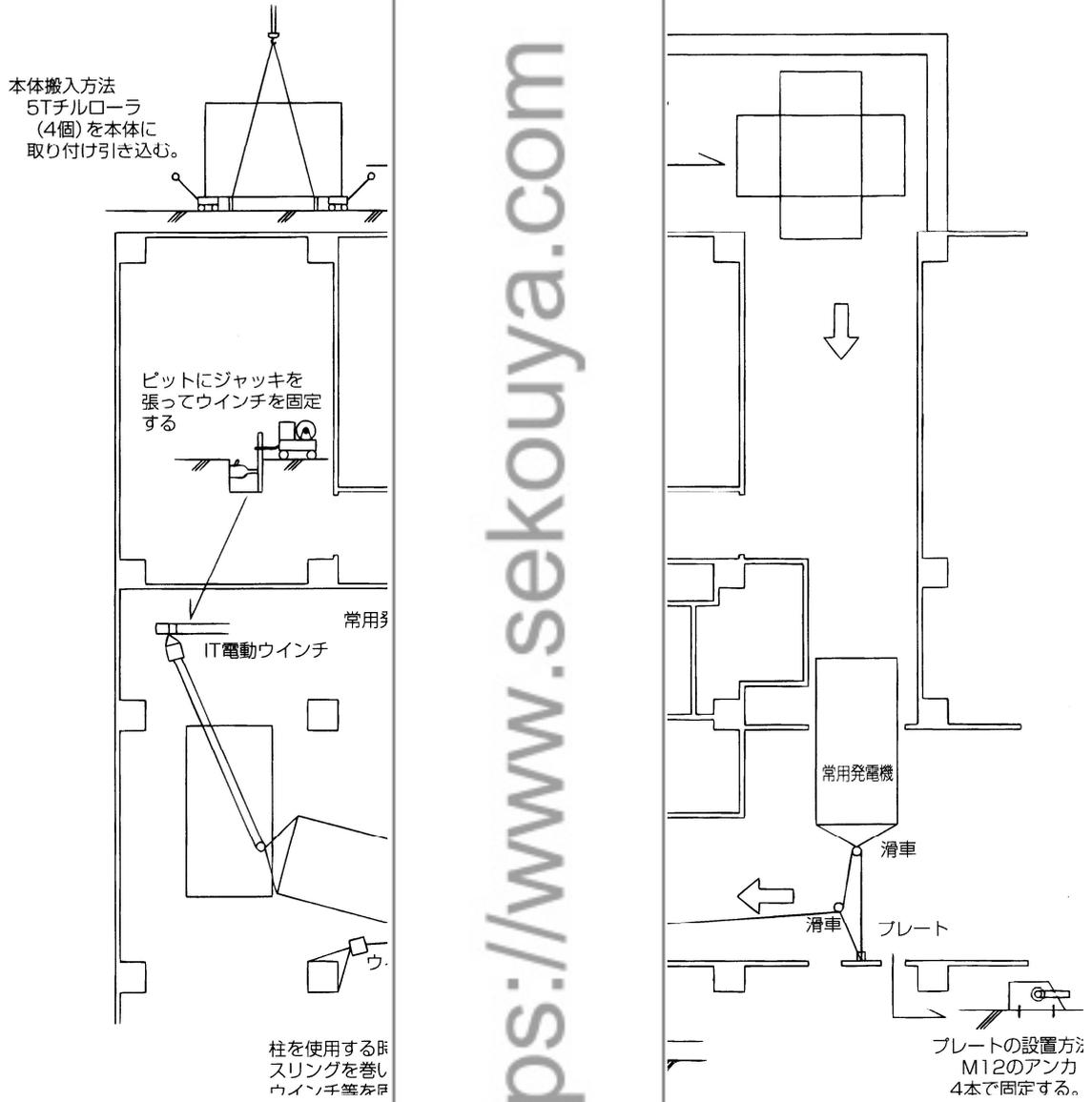
クレーン部	
ブーム長さ	メインブーム 最大 39m ジブ装着時 最大 59.5m (39 + 14.5JB)
旋回角度 旋回速度	3600 2.4rpm
ワイヤ主巻	18 (m) × 220m 切断荷重 24.53t
補 巻	18 (m) × 120m 切断荷重 24.53t

フックの種類と重量			
フックの種類 (t)	45	20	4
フックの重量 (kg)	450	270	120
ロープの掛数 (本)	11	5	1



3) 搬入方法詳細

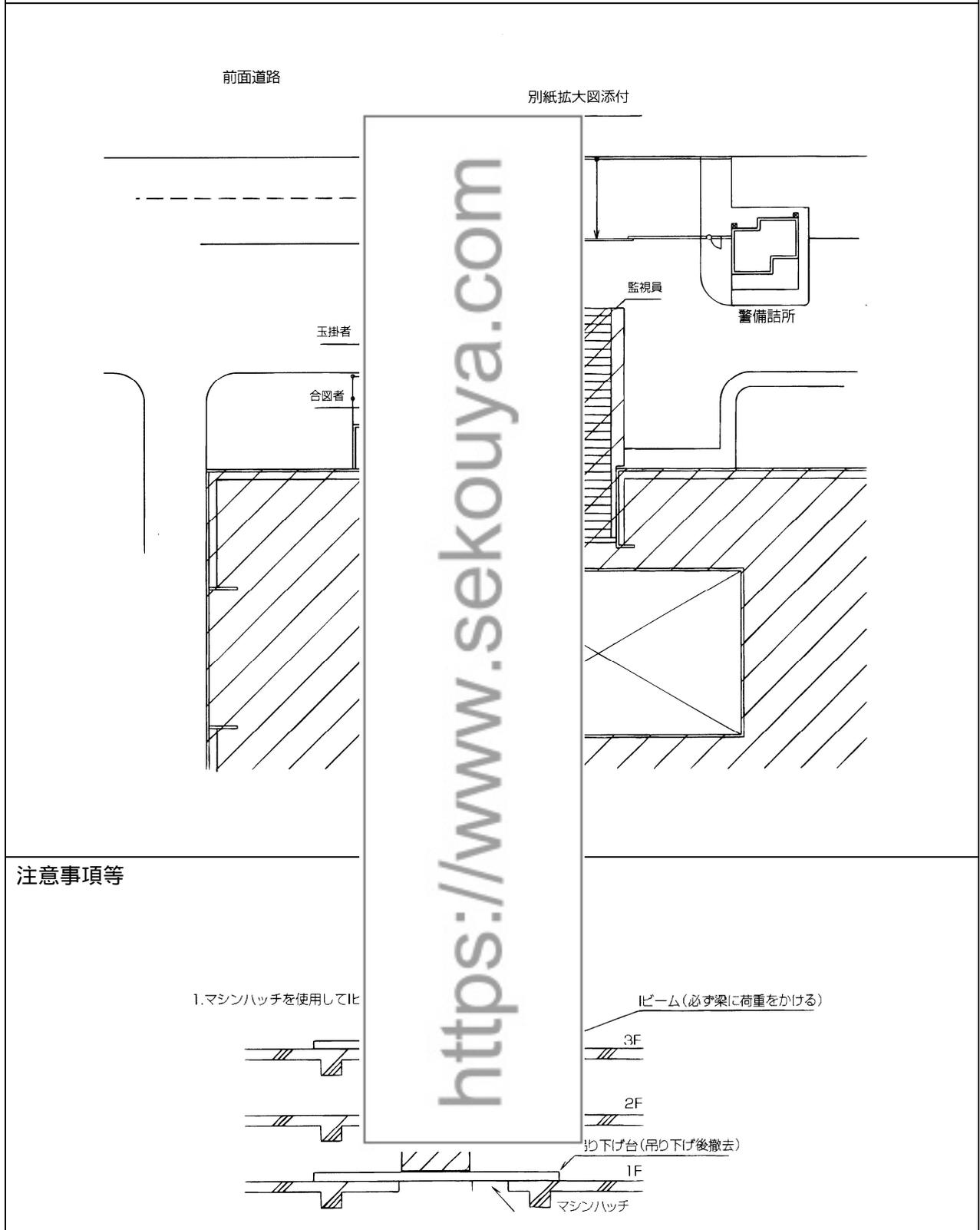
a. 搬入経路



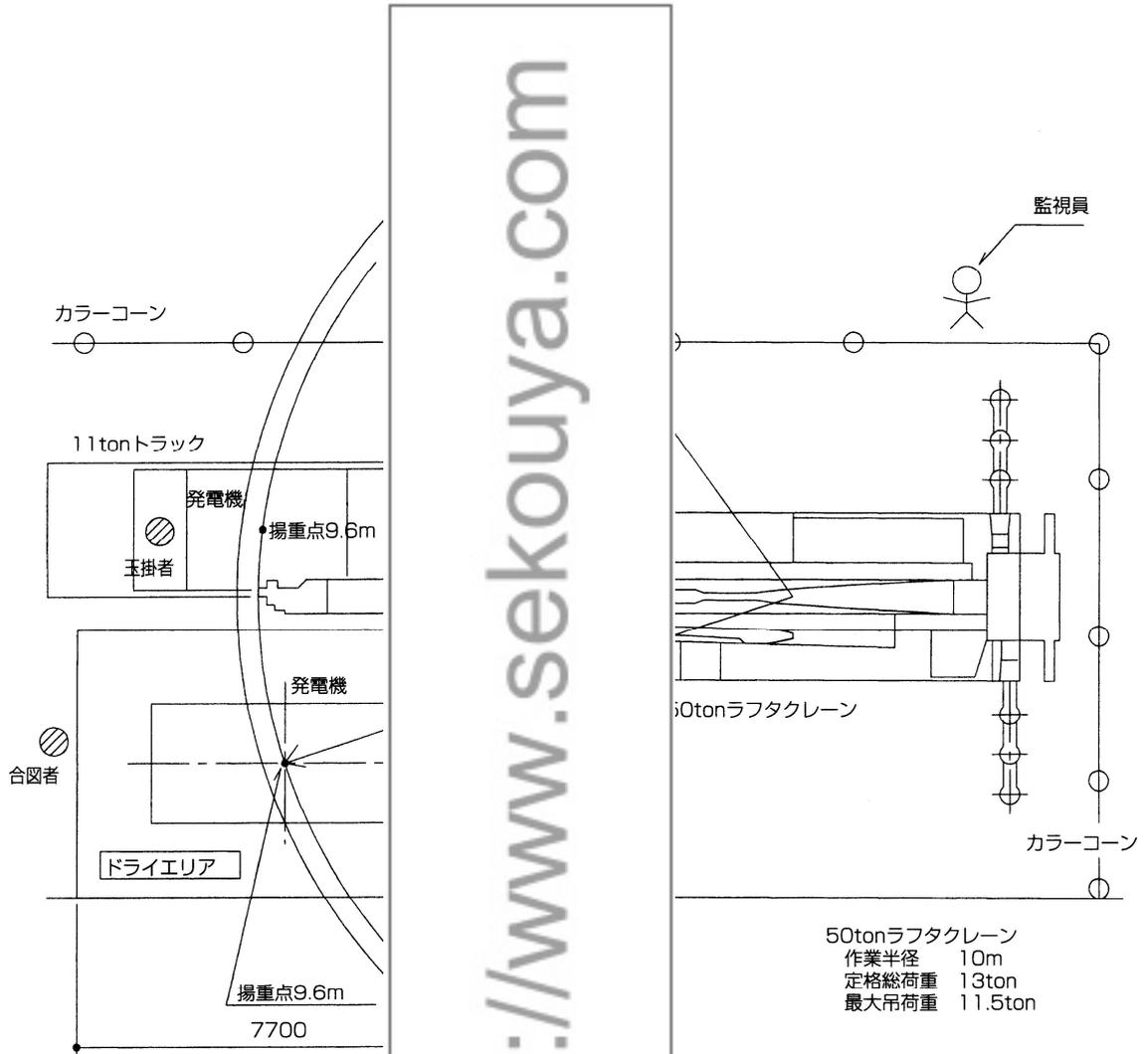
注意事項等

1. 搬入路ベニヤ板、鉄板にて養生。
2. 室内ピット部分は桧板、ベニヤ板、鉄板にて養生。

b. 重機配置図 その1

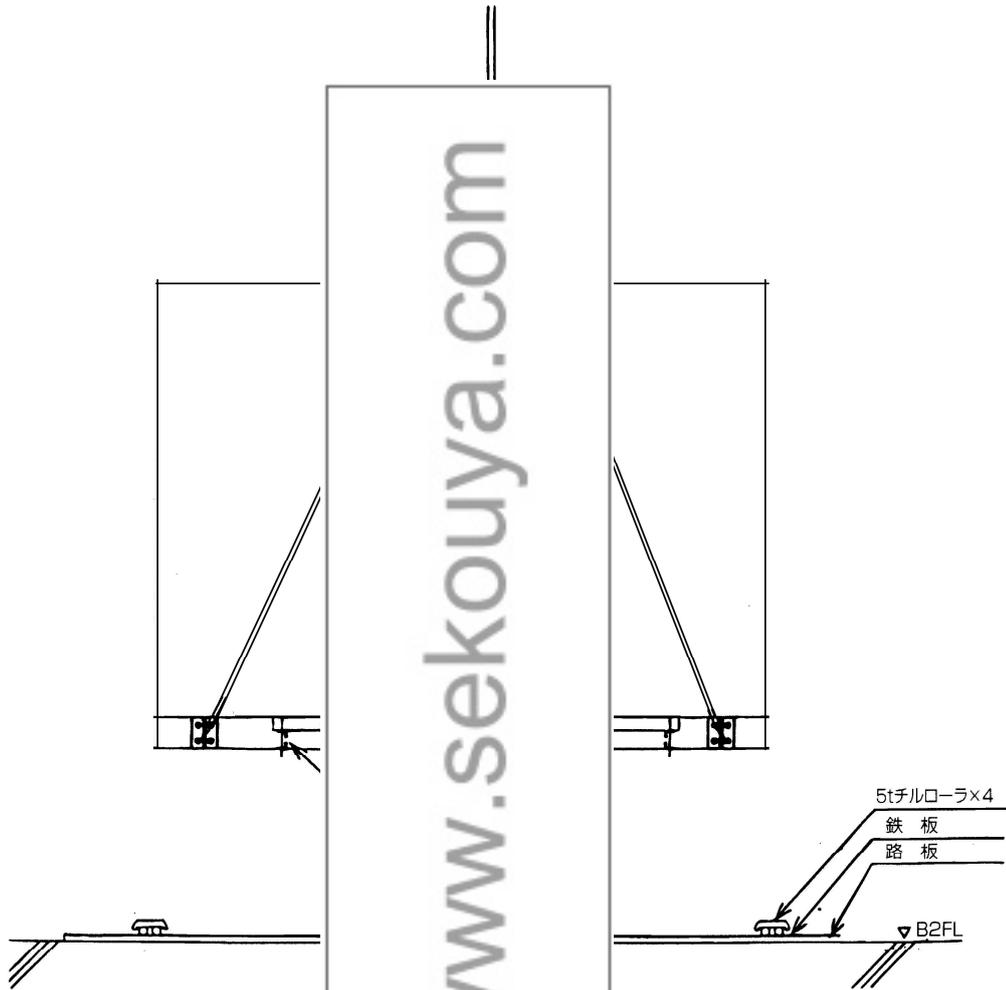


c . 重機配置図 その2 (拡大図)



注意事項等

d. 搬入要領図 その1 (吊下作業)

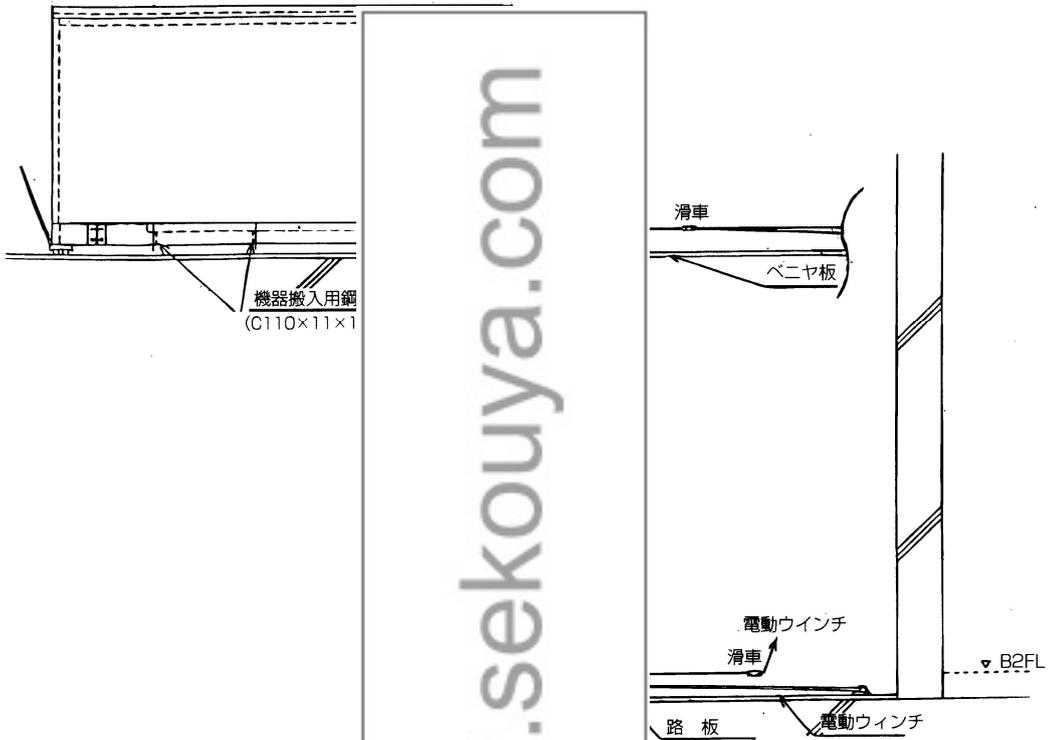


注意事項等

1. ドライエリア内および搬入路に鉄
2. ドライエリア内に冷温水発生器を材にて冷温水発生器が固定されてい
3. 冷温水発生器をチルローラに着床カー穴を利用する。

おき機械室まで搬入路を確保する。
内にはあらかじめ冷温水発生器固定用鋼
冷温水発生器の固定はボンネットのアン

e . 搬入要領図 その2 (横引作業)



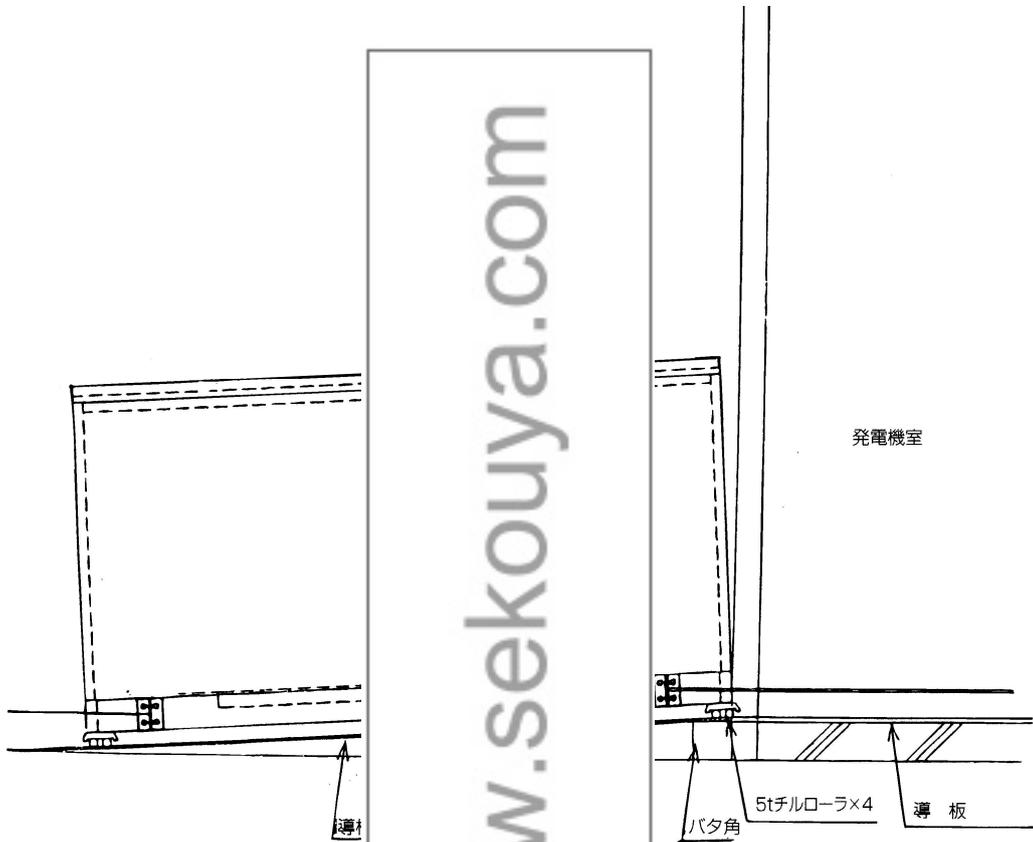
<https://www.sekouya.com>

注意事項等

1. 通路の床 (スラブ) に電動ウインチを付ける。
2. 滑車・電動ウインチにて機械室ま

カニカルアンカ×4本にて固定)を取り

f. 搬入要領図 その3 (室内引込み)



注意事項等

1. 機械室内への段差 (H300) は、ノ
2. 機関がスロープを通過するときは

スロープを作り引き込む。
う後部にワイヤを張る。

4) 安全作業手順

作業区分	手 順	内 容	確認
準 備 作 業	1. 作業前のミーティングを行なう。(記録する)	<ul style="list-style-type: none"> ・当日の人員の健康状態をチェックする。 ・新入社員に対して安全教育をする。 ・各作業工程(作業)の危険予想される危険についてのミーティングを立てる。 ・作業方法(作業)を指導する。 ・二重絶縁以外は使用しない) ・作業手順を定め責任者を決定する。 ・現場責任者が有線笛等で合図を 	
	2. 有資格者を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ・作業員 	レーン運転士免許
	3. 機械工具の点検をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・機械 ・電 ・重 ・重 ・機 ・電 	<ul style="list-style-type: none"> ・合格したものを搬入(持込み) ・接続されているか確認する。 ・では、始業時点検票の掲示を求め ・は、特に巻過ぎを防止するため ・フ外れ止め装置の有無および ・こは行先表示を取り付けて使用
	4. 保護具の点検をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・仮 ・手 	<ul style="list-style-type: none"> ・作業服装の点検をする。 ・必ず革手袋を使用する。
	5. 仮設施設の点検をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・安 ・危 ・を 	<ul style="list-style-type: none"> ・の確認をする。 ・標、または安全ロープ、ネット
	6. 搬入・据付作業の点検をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・搬 ・重 	<ul style="list-style-type: none"> ・重量現状等を検討して作業前に ・吊荷に対して、十分余裕のある機種を使用する。

本 作 業	1. 揚重作業	<ul style="list-style-type: none"> ・重機クレーン車両を用いての搬入作業は、重機クレーンの安全設置（アウトリガの最大張出および、アウトリガ下養生鋼板の徹底）を最重点確認項目とする。 ・運転者は規定の資格保有者でなければならない。 ・運転者は荷を吊ったまま運転位置を離れてはいけない。 ・荷 ・作 ・一 	<ul style="list-style-type: none"> り横引きにしたりしない。 図るため監視人を配置してカラ
	2. 玉掛作業	<ul style="list-style-type: none"> ・荷 の ・玉 検 ・玉 す ・ワ 手 と ・荷 ・吊 （ ・荷 ・口 	<ul style="list-style-type: none"> よう者は、玉掛技能講習修了者 ならない。 ワイヤロープは必ず使用前の点 か確認する。 （等）は整備されたものを使用 用具を用いて行ない、荷の下に るとともに、吊荷にのらないこ ように的確に玉掛けする。 さくするように心掛ける。 とは 60 度以下 は事前に片付けておく。 って作業しない。

<https://www.sekouya.com>

[目次に戻る](#)

